

河川基金助成事業

「多様性のある湿地環境の再生と，子どもたち
の自然体験活動の推進」

助成番号：2021 - 6113 - 008

麻機ウェットランドクラブ
代表者 石上恭平

2021 年度

1. 事業概要

1-1. 活動の目的

麻機遊水地において、多様性のある豊かな湿地環境を保全するために、ミズアオイをはじめとした攪乱依存型絶滅危惧植物の再生に取り組む。

また、子どもたちが麻機遊水地の自然に親しんでもらうための観察会、市民への啓発のための観察会を開催し、広く市民にも呼びかけ、この自然を地域の宝として後世に引き継いでいくことを目的とする。

1-2. 活動の経緯

麻機遊水地は、治水掘削工事の過程で湿地環境が再生され、多様な動植物が見られるようになった。中でも湿性植物はタコノアシなど 23 種の絶滅危惧種が確認され、水田表土を埋め戻した場所にはミズアオイの大群落が出現したことから、平成 13 年に環境省の「日本の重要湿地 500」にも選ばれている。

この実態を踏まえ、平成 16 年 1 月に各種民間団体や専門家、遊水地周辺の住民、静岡県や静岡市など多様な主体によって構成する「巴川流域麻機遊水地自然再生協議会」を設立、平成 19 年 3 月に「自然再生全体構想」が、平成 20 年 12 月には「自然再生実施計画」が策定される。

その後、静岡市の『麻機遊水地地区グランドデザイン』に基づき、平成 28 年に「麻機遊水地保全活用推進協議会」に移行しました。

麻機ウェットランドクラブは、この協議会の下部組織の自然再生部会で活動しており、この自然再生事業で示された実施計画に従って、将来にわたり安定した「人と生きものの共生」を目指し、人の利用空間、生きものの生息・生育環境、地域との関わりや景観など遊水地の自然環境のあり方について共に考え、またその自然環境を保全・再生および維持管理を共に実施していくものである。

1-3. 活動内容

(1) 活動概要

麻機遊水地第 1 工区と第 3 工区を中心に表 1.1 に示す活動に取り組んだ。

今年度も昨年に引き続き新型コロナウイルス蔓延の影響もあり、蔓延防止措置や緊急事態宣言が出され活動やイベントなどの中止や自粛など参加人員の制限をしなければならない状況もありました。



写真 1.1 活動場所の航空写真

表 1.1 活動概要

攪乱依存種等の湿生植物の保全活動	市民への啓発活動
① ミズアオイ等の攪乱依存種の保管理活動 ② オニバスの保管理活動 ③ カヤネズミの生育環境の保全	④ 自然観察会 ⑤ 他団体（市等）のイベント共催

(2) 活動状況

1 年間の活動状況

表 1.2 活動状況

	開催日・開催場所	形式	内容	参加人数
1	R3. 4. 13（火） スマイルあさはた	会議	① 活動の報告 ② 29 年度の活動計画について	11 名
2	R3. 5. 8（土） 第 3 工区	作業	①ミズアオイ田んぼ人為的攪乱作業	4 名
3	R3. 5. 11（火） スマイルあさはた	会議	①活動・イベントの打ち合わせ ②コロナ対策等について	5 名
4	R3. 5. 22（土） 第 3 工区	作業	①前日の大雨でミズアオイ田んぼ冠水のため 遊水地内の生育調査とした	3 名
5	R3. 6. 8（火） スマイルあさはた	会議	① 活動・イベントの打ち合わせ	4 名
6	R3. 7. 13（火） スマイルあさはた	会議	①活動・イベントの打ち合わせ ②コロナ対策等について	6 名
7	R3. 7. 14（水） あさはた緑地（1 工区）	作業	①あさはた緑地（公園内） 貴重種保全のための選択的除草作業	10 名
8	R3. 7. 17（土） あさはた緑地（1 工区）	作業	①あさはた緑地（公園内） 展示用（プラ舟）にオニバスを移植	5 名
9	R3. 7. 25（土） あさはた緑地（1 工区）	イベント	①おさんぽ観察会 ハスの観察会	12 名 (9 名)
10	R3. 8. 11（火） スマイルあさはた	会議	①活動報告、イベントについて	4 名
11	R3. 9. 5（土） あさはた緑地（1 工区）	作業	①あさはた緑地（公園内） 貴重種保全のための選択的除草作業	8 名
12	R3. 10. 2（土） あさはた緑地	イベント	①秋の植物観察会	19 名 (12 名)
13	R3. 10. 12（火） スマイルあさはた	会議	①活動報告、イベント打ち合わせ	4 名
14	R3. 10. 17（日） あさはた緑地センター ハウス	イベント	カヤネズミのくらしを学ぼう（第 1 回）	20 名 (16 名)
15	R3. 10. 24（日） あさはた緑地センター ハウス	イベント	カヤネズミのくらしを学ぼう（第 2 回）	20 名 (16 名)

	開催日・開催場所	形式	内容	参加人数
16	R3. 11. 7 (日) あさはた緑地	イベント	①秋のいきもの観察会	34名 (27名)
17	R3. 11. 7 (日) 第3工区	作業	①3工区の現状と課題について現地調査	6名
18	R3. 11. 9 (火) スマイルあさはた	会議	① 活動報告 ② 活動予定の打ち合わせ、その他	6名
19	R3. 11. 20 第3工区	作業	①ミズアオイ保全活動、周辺草刈り	2名
20	R3. 12. 14 スマイルあさはた	会議	①活動報告とイベント打ち合わせ	7名
21	R3. 12. 19 3工区	作業	①ミズアオイ保全の草取りと攪乱	6名
22	R4. 1. 8 あさはた緑地	作業	カヤネズミのくらしを学ぼう (第3回) カヤのほうき作りの材料集め	6名
23	R4. 1. 14 スマイルあさはた	会議	①活動報告と学習会打ち合わせ ②新規会員紹介	7名
24	R4. 1. 16 あさはた緑地	イベント	カヤネズミのくらしを学ぼう (第3回)	23名 (16名)
25	R4. 1. 22 あさはた緑地	作業	貴重種保全田んぼにて草刈り、耕起	5名
26	R4. 1. 29 第3工区	イベント	火入れ実験 (野焼き) を実施	40名程
27	R4. 1. 29 あさはた緑地	作業	貴重種保全田んぼにて排水。水路整備	2名
28	R4. 2. 8 スマイルあさはた	会議	活動報告と来年度活動計画	6名
29	R4. 2. 9 あさはた緑地	作業	貴重種保全田んぼにて耕運機で耕起	2名
30	R4. 2. 20 第2工区	作業	遊水地掘削予定カ所所の表土採取 ふじのくに地球環境史ミュージアムへ運搬	7名
31	R4. 2. 27 ふじのくに地球環境史 ミュージアム	作業	ミュージアムの中庭の池にオニバス・ハス などの湿生植物を展示する土の入れ替え	13名
32	R4. 3. 8 スマイルあさはた	会議	作業活動の報告と今後の取り組み方 あさはた緑地管理者との打ち合わせ	7名
33	R4. 3. 19 第3工区	作業	ミズアオイ田んぼの集草・草取り作業	3名
34	R4. 3. 25 あさはた緑地 センターハウス	会議	あさはた緑地の湿地部の維持管理方法	8名
35	R4. 3. 26 第3工区	作業	ミズアオイ田んぼ攪乱・外来植物抜き取り	7名

※参加人数の () 内数値は一般参加者の人数

2. ミズアオイ等の攪乱依存種の保全管理活動

2.1 活動の目的

遊水地工事により埋土種子から蘇ったミズアオイなどの攪乱依存種を保全する為、耕起（人為的攪乱）し水田環境と同じ状態にして、埋土種子から発芽したミズアオイが生育したのちに、種子の更新をして保全活動を行う。



図 2.1 事業実施箇所

2.2 作業方法

水田と同じように、鍬を使って人力にて耕起（攪乱）し湿地環境を作る。ミズアオイがある程度発芽、生育した後に貴重な植物も残しながら、チクゴスズメノヒエなどの外来種やミズアオイの生育を阻害する植物（ヨシやカンガレイ・カササゲ・イの仲間など）を除去する作業も継続して行う。

作業写真



写真 2.1 人力による耕起作業



写真 2.2 人力による耕起作業



写真 2.3 オモダカの生育が早い



写真 2.4 秋にはほとんど見る事が出来ない

2.3 結果

今年度はコロナ蔓延で蔓延防止対策や緊急事態宣言などで5月に耕起作業したが、例年より作業時期が遅くなり、発芽した芽も一緒に攪乱してしまったようです。参加人員も少なく思い通りに活動が出来ませんでした。少しの発芽は見られたがミズアオイの群落を復元することはできなかった。夏場でもコロナの影響で活動が出来ず、維持管理もできず残念な年になりました。

散策される市民の皆様にも残念がられました。

3. オニバスの保全管理活動

3.1 活動の目的

絶滅危惧Ⅱ類にランクされているオニバスが麻機遊水地第1工区の池に2010年に復活しました。復活したオニバスが今後、植生遷移や土壌の劣化などにより絶滅しないように、遊水地内の他の池にも植生エリアを確保しつつ保全・管理することを目的とする。



図 3.1 オニバス保全活動実施箇所

3.2 作業方法

今年は数株発芽するが、生育することが出来なかったりして再生することができなかったので生育状況を観察することが主な作業となった。



写真 3.1 3 工区発芽状況観察



写真 3.2 数株の発芽が見られた



写真 3.3 7 月数株の生育が見られた



写真 3.4 あさはた緑地に避難的移植

3.3 結果と考察

一昨年、しゅんせつ工事により池底の土壌は改善されたが、数本発芽しても間もなく消えてしまうような状況で、残念な結果でした。

水質、土壌の劣化、が原因なのか、カメやコイ、ザリガニなどの外来生物による食害なのか、釣り人のルアーによるのか原因の特定はできていません。

近隣小学校の池やあさはた緑地（遊水地内公園）などに一時的に避難育成させ、時期を見て里帰りも考えていきます。

外来生物（ミシシippアカミミガメ・ザリガニ）などの食害も考えられるので、それらの駆除も専門の先生方に相談して対策を考えていく必要があると思います。

4. カヤネズミの生育環境の保全活動

4.1 活動の目的

カヤネズミが生息できる環境を保全することを目的としました。

カヤネズミはヨシ、オギやススキなどの群落する場所に巣を作り生息しています。乾燥に強いセイタカアワダチソウやアレチハナガサなどの侵入があり、植生が偏移する傾向が見られます。又オギなどがそのまま放置すると劣化し葉の数も少なくなり営巣が困難になることが考えられます。そこで、カヤ原を刈り払い新しいカヤを生育していく必要があります。

4.2 活動方法

定期的にかヤ原を刈取っていた場所は『あさはた緑地』公園として供用が開始され、指定管理者が維持管理する範囲となり、管理者に委ねることにしました。刈り取る時期などをアドバイスしています。

4.3 考察

公園になり人や犬の散歩、自転車、スケボー、管理車両などの通行が頻繁となり、カヤネズミの営巣地としてやや問題があると考えます。

他の場所で必要であれば、来年度からカヤの刈取り作業を行い新しいカヤが生育しカヤネズミが営巣しやすい環境を作っていきたいと思います。

5. 静岡県立ふじのくに地球環境史ミュージアムで麻機遊水地の植物を展示紹介

5.1 活動の目的

啓発活動の一環として、麻機遊水地の植物をミュージアム（博物館）の中庭にある池にプランターに移植し、麻機の湿生植物の実物を展示することにより広く市民に麻機遊水地の魅力を視覚的に伝える。この活動は今年で7年間継続しています。

5.2 作業方法

ミュージアムの池にあるプランターに新たに土を補いプランターにある植物を植え替える作業を行います。

新しい土は静岡土木事務所の許可を得て麻機遊水地の掘削工事をしている田んぼの表土を採取し、ミュージアムへ運びます。

展示用植物は、ミズアオイ・タコノアシ・オモダカ・コツブヌマハリイ・カンガレイ・サンカクイ・ヒメガマ・コガマ、・ガマ・オニバス・ハス（レンコン）などの湿生植物です。

土の採取・植物の採取と運搬



写真 5.1 遊水地工事個所の表土を採取



写真 5.2 表土を 20 袋、運搬

富士の国地球環境史ミュージアム中池で土の補充と植え替え作業



写真 5.3 養生して準備



写真 5.4 プラ舟を引き上げ土の入れ替え



写真 5.5 レンコンも丁寧に堀上



写真 5.7 湿性植物も攪乱と肥料補充

写真 5.6 ガマやイの鉢も土を解す



写真 5.8 作業終了し清掃完了

5.3 考察

ふじのくに地球環境史ミュージアムで麻機遊水地の植物を展示し、来場者の方にサポーターから説明をしていただいたことで、市民の皆様が麻機遊水地へ足を運んでいただいたと考えています。現物の植物を展示することで、麻機遊水地の豊かな自然の一端を知っていただき、興味を持ってくれるとありがたいと思います。

今回はサポーター数名にも声をかけ作業に加わっていただきました。来場者への説明も熱が入り良い展示となることが期待できます。

今後もミュージアムの先生方との連携も発展させていきたいと思っています。

6. 学習会

6.1 活動の目的

私たちのスキルアップを図るため、他の活動の見学や交流を目的としましたが、新型コロナウイルスの影響もあり止む無く中止しました。

6.2 火入れ実験

麻機遊水地活用推進協議会が主催する事業で、効果的・効率的な植生管理手法の確立のため、冬季の枯れヨシ焼きを行い、その効果を検証する目的で行われました。昨年は新型コロナで中止しましたが、十分な対策を取って開催されました。

指導してくださる西廣淳先生（国立環境研究所）から挨拶と火付け用具と消火ポンプの説明を受け、いよいよ着火します。



写真 6.2.1 着火用器具の説明



写真 6.2.3 火入れ開始

写真 6.2.2 消火ポンプの注意説明



写真 6.2.4 思ったより黒煙にびっくり



写真 6.2.5 火入れの効果のお話し



写真 6.2.6 参加者全員で記念撮影

岐阜大学の津田先生も参加していただき、野焼きの際の温度を測定し、地表30 cmでは700℃、それに比べて地下2 cmは温度上昇がないという話でした。地下に眠っている種子が焼けてしまうことなく春先に発芽する機会が来ることがわかりました。

広いヨシ原の管理と植生に対する良い効果を検証しながら発展させていきたいと思っています。

7. 市民への啓発活動・環境学習

7.1 活動の目的

啓蒙活動・環境学習は、麻機遊水地の貴重な自然や地域に伝わる伝説、子どもたちに自然とのふれあいの楽しさを知ってもらうことを目的として開催する。併せて遊水地での活動を広く市民の方々に理解してもらうことも目的とします。

7.2 おさんぽ観察会 —ハスを見に行こう！—

開催日：令和3年7月25日（日） 9:00～10:30

開催場所：あさはた緑地（麻機遊水地1工区）

内容：遊水地の生き物に詳しい指導員と一緒にハス池周辺で自然観察をします。

静岡市が整備した『あさはた緑地』の駐車場に集合し、ハス池の周辺や木道を使ってハスをはじめ、いろいろな植物、虫などを観察しました。ハスの実を食べたり、ハスの茎でシャボン玉遊びをして楽しい観察会になりました。



写真 7.2.1 受付開始



写真 7.2.2 河川財団ロゴ



写真 7.2.3 ガマなどの観察



写真 7.2.4 木道の上でハスを観察



写真 7.2.5 ハスの実を食べてみた



写真 7.2.6 ハスの茎でシャボン玉

7.3 オニバス観察会

コロナ蔓延防止中につき中止

開催日 : 令和3年9月5日 <予定>

7.4 ミズアオイ観察会

コロナ蔓延防止中につき中止

開催日 : 令和3年9月25日(土) <予定>

7.5 秋の植物観察会

オニバス観察会やミズアオイ観察が中止となったため、その代替えのイベントを企画しました。

開催日：令和3年10月2日（日） 10:00～11:30

開催場所：あさはた緑地（麻機遊水地1工区）

内容：4月に開園した「あさはた緑地」の体験田んぼには、珍しい湿生植物がたくさん生えてきました。虫や鳥たちも集まってきて“いのちの賑わい”が感じられる楽しい場所になっています。そんな中に咲くミズアオイや、面白い形の植物を観察しながら初秋のひと時をのんびり過ごしてみませんか。



写真 7.5.1 挨拶と注意事項



写真 7.5.2 ミズアオイも見られた



写真 7.5.3 小さいけどオニバスも



写真 7.5.4 オニバスの種も観察



写真 7.5.5 ガマを片手に自慢げ



写真 7.5.6 指導員による説明



考察

コロナ渦での開催で、募集人員を少なくして開催しましたが、親子連れには楽しい一日になったと思います。募集期間も少なく参加応募者いるのか心配しましたが、観察途中から加わった親子もあり公園ならではの観察会になったと思います。中止したオニバス観察会とミズアオイ観察会ですが、今回あさはた緑地で見ることが出来てよかったと思います。コロナもあり報道機関への投げ込みは控えました。

協力をいただいた指定管理者『あさはたグリーンパーク』さんに感謝です。

7.6 秋のいきもの観察会 カヤネズミってどんなネズミ？

カヤネズミ観察が中止となったため、その代替えのイベントを企画しました。

開催日：令和3年11月7日（日） 10:00～11:30

開催場所：あさはた緑地 休憩小屋

内容：麻機遊水地にくらす日本一小さなカヤネズミのお話を聞き 銀色の穂が輝くオギ原でカヤネズミの巣を探しながら 湿地の生きものがすむ環境について学びます



写真 7.6.1 センターハウス前黄色い旗



写真 7.6.2 河川基金ロゴ



写真 7.6.3 休憩小屋でカヤネズミのお話し



写真 7.6.4 カヤネズミの紙芝居



写真 7.6.5 カヤ原で巣を見つけました



写真 7.6.6 田んぼにどんな生き物？

7.7 カヤネズミのくらしを学ぼう！〈全3回〉

本事業は静岡東部生涯学習センターと麻機ウェットランドクラブの共同開催として行われました。

第1回 どんなくらしをしているの？

開催日：令和3年10月17日（日） 10：00～11：30

開催場所：あさはた緑地センターハウス

内容：どんなくらしをしているの？ カヤネズミの気持ちになってくらしを体験しながら学ぼう

参加者：8家族 16名 スタッフ4名 計20名

カヤネズミの特徴をわかりやすくお話しの後、カヤネズミの工作をしました。天敵の蛇やモズなどから逃げたり、生き残る大変さを学びました。



写真 7.7.1 カヤネズミの住処や天敵を学ぶ

第2回 カヤネズミの巣を見にいこう！

開催日：令和3年10月24日（日） 10：00～11：30

開催場所：あさはた緑地（麻機遊水地1工区）

内容：カヤネズミの巣を探しに行こう カヤネズミの巣を探しながらカヤネズミのくらす環境を学ぼう

参加者：8家族 16名 スタッフ6名 計22名

あさはた緑地センターハウス前に集合した。受付時に手指の消毒、非接触体温計で体温チェック。前回学んだことの振り返りをして、カヤネズミの巣を探しに出発です。

カヤ原での注意や、カヤネズミを驚かさないように静かに観察することなどの話をしました。



写真 7.7.2 カヤネズミの特徴おさらい



写真 7.7.4 カヤ原で生息環境を体感

写真 7.7.3 歩きながら巣を見つけよう



写真 7.7.5 カヤネズミのポストカードプレゼント

第3回 みんなでカヤネズミを守ろう！

開催日：令和4年 1月16日（日） 10:00～11:30

開催場所：あさはた緑地センターハウスとカヤ原

内容：カヤネズミの住む環境と保全について学ぼう

参加者：8家族 16名 スタッフ6名 計26名

冬場のカヤ原を歩き前回見つけたカヤネズミの巣がどうなっているか観察、冬の間カヤネズミたちはどうしているのか、みんなで考えました。昔は暮らしの中でカヤを使っていたことを教わりました。今回はカヤの穂を使ってほうき作りを楽しみました。自然の素材を使って工作は好評でした。



写真 7.7.6 黄色の旗に集合



写真 7.7.7 前回までのおさらい



写真 7.7.8 冬場のカヤの巣は？



写真 7.7.9 ほうき作りの説明



写真 7.7.10 お母さんと一緒にほうき作り



写真 7.7.11 たくさん使っていっぱい作りました



写真 7.7.12 こんな出来ました



写真 7.7.13 よくできました

7. 8 遊水地フェスタ

新型コロナウイルスの影響により、中止された。

7. 9 サイエンスピクニック

規模を縮小して開催されたが、建物の内での活動ですのでコロナが心配で出展を自粛しました。

7. 10 遊水桜まつり

遊水地周辺で自治会連合会主催の「遊水桜まつり」が開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの蔓延の為、中止となり出展を取りやめました。

7. 11 活動の効果等

昨年に続き、今年もコロナウイルス蔓延の影響もあり制約のある中での活動、イベント開催になりました。蔓延防止対策でオニバス観察会、ミズアオイ観察会など中止になり、テンションが下がり気味でした。

ウェットランドクラブ主催で開催した4つのイベントでは、合計64名の一般参加者により開催することができ、麻機遊水地の自然の魅力を多少でも広めることができたと考えます。

当会主催のイベントや会議などで新型コロナウイルスに感染した連絡はありませんでした、マスク着用

や手指の消毒など、協力いただいた皆様に感謝します。

回数は少ないが、子ども向けの観察会では、子どもたちが自然で楽しむことで、麻機遊水地の自然環境に興味を持ってもらえ、子どもたちへの環境教育ができたと考える。

他のイベントも中止になったり、規模が縮小になったりしたことで、思うように、麻機遊水地の魅力を伝えることができなかったと思います。

今年度から供用開始となった『あさはた緑地』の指定管理者（一般社団法人グリーンパークあさはた）とさまざまな場面で相互に協力し合って、豊かな自然公園として発展していきたいと思います。

早期に新型コロナウイルスの影響がなくなり、普通に活動出来ることを祈っています。

今後も、この活動を継続させるとともに、部会員のスキルアップや新規活動の応援団を募集し、新たな活動にも取り組んでいきたい。

8. その他の活動

8.1 『あさはた緑地』体験田んぼで、貴重種の保全活動

現在は休耕田となっている田んぼにミズアオイをはじめ、貴重植物が多く生育しており、選択的除草作業や耕運機での攪乱作業を行っています。今後もフィールドとして活動していきたいと考えています。



写真 8.1.1 選択的除草



写真 8.1.2 ミズアオイの群落



写真 8.1.3 冬場の枯草の除去作業



写真 8.1.4 鋤を使って耕し作業

9. 添付資料等

9.1 おさんぽ観察会チラシ



あさはたおさんぽ観察会

ハスを見に行こう！



日時：2021年 7月25日（日）9：00～10：30 雨天中止

場 所： あさはた緑地（葵区赤松2-1） 集合：現地駐車場

対 象： どなたでも 15人 ※小学生以下は保護者同伴

参加費： 200円

持ち物： 水筒（水分補給）タオル

服 装： マスク 帽子 汚れてもよい服装 長ズボン 歩きやすい靴（サンダル不可）

日陰が少ないのでUV・熱中症対策を忘れずに！

内 容： 遊水地の生きものに詳しい指導員と一緒に、ハス池周辺で自然観察をします。

お願い： 当日朝、体温を計ってきてください。体調の悪い方は参加をご遠慮ください。

申込み： 裏面の申込み用紙にご記入の上 FAX 054-247-4471 石上 まで

問合せ： 090-7604-9364 栗山 090-5107-8300 竹内

主 催： 麻機ウエットランドクラブ



河川 公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています

“ きて・みて・ふれて
あさはた ウエットランド ”

ウエットランドとは湿地のことです。つまり、長くつで歩くところ。

田んぼ・小川・遊水地・水たまり・・・

そこには、愉快で不思議なウエットランドの生きものたちが集まってきます。

なにが、どんなくらしをしているのか、一緒に足元の世界をのぞいてみませんか？



知ってました？こんなこと

- ・麻機遊水地に現れたミズアオイ群落は世界一の規模だったってこと
- ・遊水地にコウノトリが来たことがあるってこと
- ・江戸時代、オニバスの種子で富士山にお参りする人の数珠を作っていたってこと
- ・日本一小さなカヤネズミがカヤ原で暮らしているってこと

そんな、こんなで 環境省の重要湿地 500 に選ばれています。

でも、最近外来種が増えてるらしい・・・



9.2 カヤネズミのくらしを学ぼうチラシ（表面）



東部生涯学習センターは、自然学習事業等を通してSDGs「目標15 陸の豊かさも守ろう」に取り組んでいます。

令和3年度 麻機ウェットランドクラブX東部生涯学習センター共催事業

カヤネズミのくらしを学ぼう！



第1回

10/17(日)

どんなくらしをしているの？

カヤネズミの気持ちになって、カヤネズミのくらしを体験しながら学んでみよう

第2回

10/24(日)

カヤネズミの巣を探しにいこう！

麻機通水地でカヤネズミの巣を探しながら、カヤネズミのくらしについて考えてみよう

第3回

1/16(日)

みんなでカヤネズミを守ろう！

麻機通水地でカヤネズミのくらしを体験し、カヤネズミの住む環境と保全について学んでみよう

日 時 10/17(日)、10/24(日)、R4/1/16(日) 10:00～11:30

場 所 あさはた緑地(葵区赤松 2-1) ※現地集合・解散

※第1回…あさはた緑地センターハウスで室内講義。

※第2・3回…あさはた緑地で野外活動。雨天の場合は、下記のとおり順延。

第2回 10/31(日)、第3回 R4/1/23(日)

講 師 第1回 山根 真智子(ふじのくに地球環境史ミュージアム インタープリター)

第2・3回 栗山 由佳子(麻機ウェットランドクラブ)

対 象 小学生8人(保護者同伴)

参加費 1人200円(全3回分)

持ち物 筆記用具、水分補給用の水筒

※第2回以降の野外活動で必要なものについては第1回で別途通知します。

申込方法 9/11(土)10:00～ 受付開始

電話で東部生涯学習センターへお申し込みください。(申込順)

静岡市東部生涯学習センター

指定管理者 公益財団法人静岡市文化振興財団

〒420-0803 静岡市葵区千代田七丁目8-15

電話:054-263-0338

(月曜・祝日休館) <https://sgc.shizuokacity.jp/>



9.3 カヤネズミのくらしを学ぼうチラシ（裏面）

カヤネズミ *Micromys minutus* (萱鼠)

日本でいちばん小さなネズミです。
一生を草むらですごし、人家に上がりこむことはありません。
河川敷や休耕田などの、背の高いイネ科の植物（カヤ）が生えている
場所を好みますが、最近カヤ原が少なくなってしまったため、絶滅が
心配されています。



静岡県レッドリスト：準絶滅危惧（NT）

現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に
移行する可能性のある種

共催団体 麻機ウエットランドクラブ

ウエットランドとは湿地のことです。私たちは、麻機の3つの水環境を代表するオニバス（池）・
ミズアオイ（湿地）・カヤネズミ（湿原）を指標に、それらがこれからもずっと生息できるような環境
を残すことを目指して活動しています。

静岡市の麻機遊水地を中心に、湿地で絶滅が心配されている動植物を守るための野良仕事や
自然を楽しむ観察会、工作・お話し会などを行っています。

おもな活動

- 月1回の定例作業（草刈りなど野良仕事）
- ふじのくに地球環境史ミュージアムの中庭池管理作業
- お散歩観察会（ハス観会、リース作り、七草摘みなど その時に応じて不定期開催）
- 定例観察会 オニバス（8月）・ミズアオイ（9月）・カヤネズミ（10月）



新型コロナウイルス感染症対策について

- ① 講座にご参加いただく際にはマスクの着用をお願いいたします。
- ② 講座実施日から過去2週間において以下の事項に一つでも該当する場合は参加をご遠慮ください。
 - (1) 37.5度以上の発熱または平熱より1度以上高い場合
 - (2) 息苦しさ・強いだるさ、咳・のどの痛みなどの症状がある場合
 - (3) 新型コロナウイルス感染症陽性と判明された方との濃厚接触
 - (4) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - (5) 政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触
- ③ 感染者が発生した場合等、必要に応じて保健所等の公共機関へ氏名、連絡先等を提供することがあります。

9.4 ミズアオイ観察会

コロナ蔓延のため中止



ミズアオイ観察会

コロナ蔓延のため中止

麻機遊水地ならではの植物を観察しながら、夏から秋へと移り変わりつつある湿地の自然の中をゆっくりと歩いてみませんか？

今年完成した、あさはた緑地内の体験田んぼや湿地などに、多くの湿生植物が自生しています。8月頃からミズアオイの花が咲き始め、タデなどもかわいい花を見せてくれます。



ミズアオイの群生



日 時：令和 3 年 9 月 25 日（土） 9：30～11：00 頃

場 所：あさはた緑地公園内（麻機遊水地第 1 工区）

対 象：どなたでも

定 員：20 名程度 申込順 **参加費無料**

持ち物：飲み物・帽子・長靴（あれば） 服装は長袖、長ズボン

時節柄、**マスク着用・ソーシャルディスタンス**での観察会となります。

問合せ・申込み：あさはた緑地管理事務所

電話：054-295-5165 Fax：

受付時間（9：30～17：00）

※お車でお越しの際は、あさはた緑地公園の駐車場へお願いします。

※最寄りバス停は、大浜麻機線 麻機小学校前下車してください。

※小雨の場合は決行します。

主 催：麻機ウェットランドクラブ <麻機遊水地保全活用推進協議会>

協 力：昭和設計株式会社

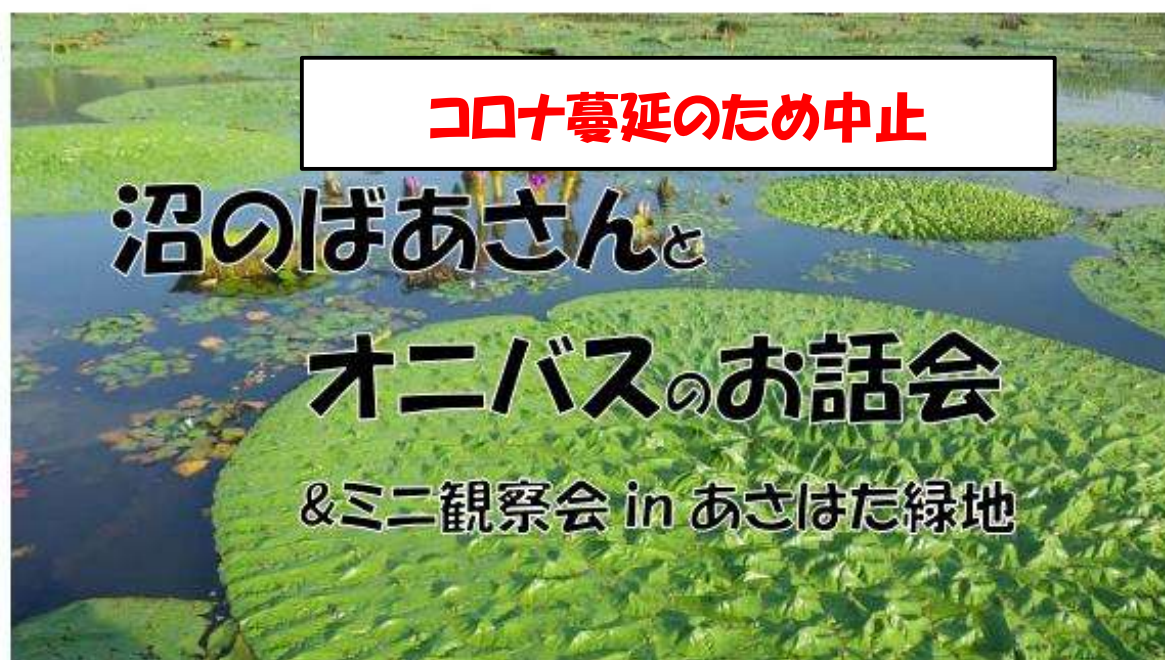
※今回収集した個人情報は、本観察会申込者の管理事務及び今後の観察会等のご案内に使用させていただきますので、あらかじめご了承ください。



河川 公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています。

9.5 沼の婆さんとオニバスお話し会

コロナ蔓延のため中止



場 所：あさはた緑地 センターハウス（静岡市葵区赤松 2-1）

定 員：20名 参加無料

申込み：裏面の申込書に記入しFAXまたは電話で申し込んでください





秋の植物観察会

4月に開園した「あさはた緑地」の体験田んぼには、珍しい湿生植物がたくさん生えてきました。そこには虫や鳥たちも集まってきて“いのちの賑わい”が感じられる楽しい場所になっています。そんな中に咲くミズアオイや、面白い形の植物を観察しながら初秋のひと時をのんびり過ごしてみませんか。

植物をじっくり観察したい人、親子で生きもの探しをしたい人など、どなたでも大歓迎。自然観察指導員が一緒します。



日 時：令和 3年 10月 2日（土） 9:30～11:00 頃

※小雨決行

場 所：あさはた緑地（葵区赤松2-1）※センターハウス前集合

最寄りバス停『大浜麻機線』麻機小学校前

対 象：どなたでも 20名 参加費無料

持ち物：飲み物・帽子・長靴（あれば） 服装は長袖、長ズボン、マスク

問合せ・申込み：あさはた緑地管理事務所

電話：054-295-5165 Fax：054-295-5166

受付時間：9:30～17:00（申込順）

主 催：麻機ウェットランドクラブ ＜麻機遊水地保全活用推進協議会＞

協 力：昭和設計株式会社・（社）グリーンパークあさはた



河川 公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています。

9.7 秋の生きもの観察会

秋の生きもの観察会

カヤネズミってどんなネズミ？

麻機遊水地にぐらす日本一小さなカヤネズミのお話を聞き 銀色の穂が輝くオギ原で
カヤネズミの巣を探しながら 湿地の生きものがすむ環境について学びます

※カヤネズミの巣はどこ？この写真の中からさがしてみよう！

日 時： 令和3年 11 月 7 日（日） 10：00～11：30

（雨天中止）

集合場所：あさはた緑地（葵区赤松2-1）センターハウス前 （裏面案内図）

対 象：どなたでも （定員）20名

参 加 費：無料

持 ち 物：飲み物、あれば双眼鏡

服 装：長袖、長ズボン、長靴、マスク

申 込 先：あさはた緑地管理事務所（裏面申込書）

電話：054-295-5165 Fax：054-295-5166

受付時間：9:30～17:00（申込順）

※新型コロナウイルス感染症対策についてご協力をお願いいたします。※

主催：麻機ウエットランドクラブ＜麻機遊水地保全活用推進協議会＞

協力：（社）グリーンパークあさはた・昭和設計株式会社

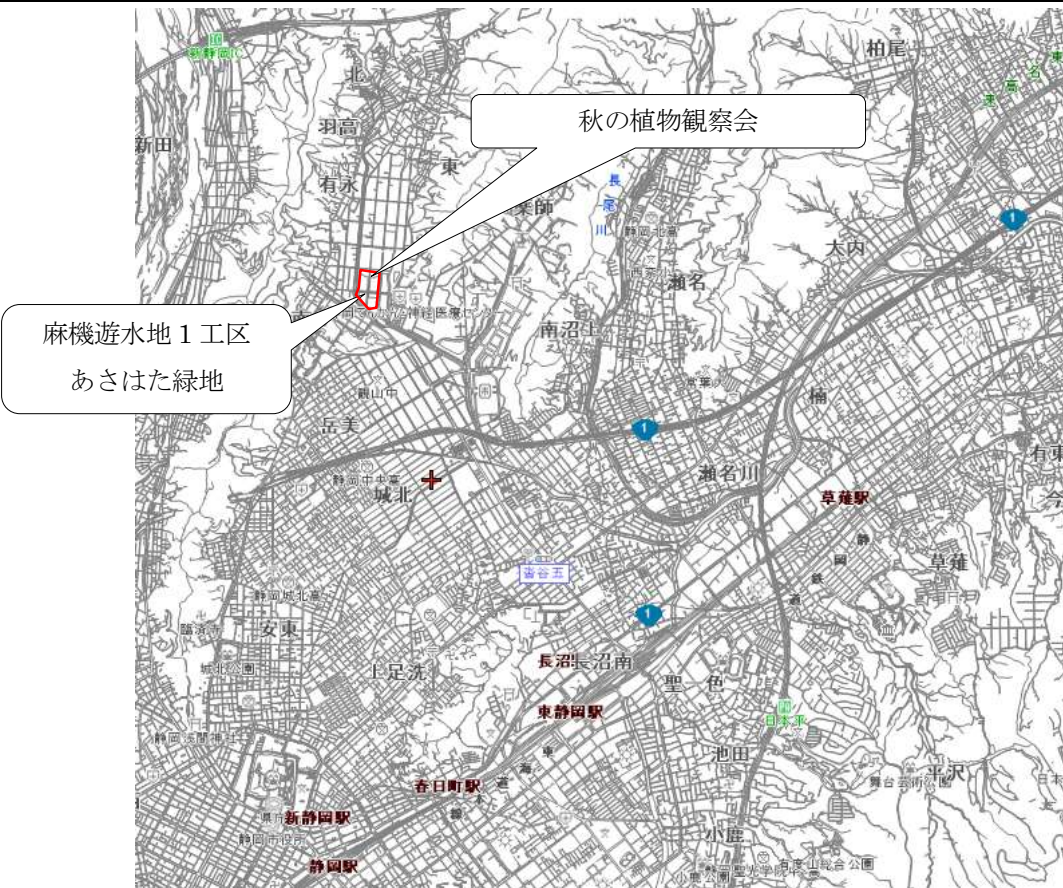


河川 公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています。

様式 1 1

3.川づくり団体部門

[実施箇所位置図]

助成番号		助成事業名		所属・助成事業者氏名		
2021-6133-008		多様性のある湿地環境と、 子供たちの自然体験活動の推進		麻機ウェットランドクラブ 代表 石上恭平		
主な実施箇所		あさはた遊水地第1工区 あさはた緑地				
助成事業の主な実施箇所						
	遠景		近景			
						
	河川基金ロゴ等表示状況写真					
延べ参加人数		一般		25 名	スタッフ・事務局	7 名
マスコミの反響		コロナ下でのイベントのため、取材依頼は出ませんでした。				